

アベノミクスで地域経済はよくなるか

【第1の矢】異次元の金融緩和の実態は？

融資の件数は激減！
 それほど市内業者の体力が弱っているのでは（平野）

《中小企業向け融資実績》

	件数	融資金額
H21	214件	12億4,660万円
H22	122件	6億5,324万円
H23	71件	4億0,440万円
H24	63件	3億5,928万円
H25	44件	2億6,710万円

《自営業者の所得と納税の状況》

	H20	H24
総所得額	63億8千万円	⇒ 56億円
納税者数	2,140人	⇒ 1,847人

平野市議は、上の事実を示して「市内業者は融資制度を活用できないほど体力が弱っている」と指摘しました。

日銀総裁の首をすげ替えてまで実行した「異次元の金融緩和」（銀行保有の国債を日銀が購入）その結果、銀行には資金がダブっている。しかし借り手がないのです。

平野市議は「別府市で見ると、第1の矢は成功していない」と指摘しました。

2月28日、3月定例議
 会が開会。3月5日には
 平成25年度補正予算の
 審議が行われ、日本共産
 党からは平野市議が質
 問に立ちました。
 新年度の当初予算案
 については、11日から3
 日間、集中審議が行わ
 れ、平野、えんど両市議
 が質問します。

《H25年度・補正予算の主な内容》

- ◇中小企業への融資のための経費 …… 1億4,400万円の減額
- ◇国保会計へ一般会計からの繰り入れ…1億5,000万円の増額
- ◇景気対策として6億8,000万円の公共事業
 道路、橋りょう、街灯LED化、学校の耐震補強など

【第2の矢】「財政出動」で景気がよくなるでしょうか？

**「元請けが儲かるだけでなく、
 末端の労働者までいき渡るように
 工夫を」と、平野市議が指摘**

別府市は安倍内閣の「経済対策」を受けて、補正予算で6億8千万円、新年度当初予算で約44億円の公共事業費を組みました。平野市議は、「一部の元請けだけでなく、広く経済効果がいき渡るように工夫を」と求めました。これに対して市当局は「下請けとの契約内容は提出される書類に記載されるが、労働者の賃金まではチェックできない」と答弁しました。

アベノミクスの第2の矢でも、地域経済の再生はできそうにありません。これに消費税が増税されたら、業者の経営と市民の暮らしはどうなるのでしょうか。

日本共産党別府市議団

市議会議員 平野文活 えんど(猿渡)久子

新ごみ焼却場

またまた、おどろき！ なぜ、見学コースがないの？



別府市選出の広域圏議員は、2月26日、日立造船の責任者の案内で、新ごみ焼却場を視察しました。なんと驚いたことに見学コースがないのです。見学者は入口からすぐエレベーターで4階にあり、学習室のスクリーンで映像を見ながら、ごみ問題の説明を受けるといいます。

全国どこの焼却場でも、ゴミが投入された内部や集中管理室など現場の様子を、ジカに見学できるように建物が設計されています。最新鋭の施設のはずですが、あまりにもお粗末です。

すでに報告したように、入札の疑惑、暴力団がらみの不祥事、裁判記録で判明した『別府環境』との契約に至るカラクリなど、新ゴミ焼却場には驚かされることばかりです。

続報・・・暴力団絡みの不祥事

裁判記録に見る驚きの事実

『別府環境』社長の給与は なんと、月150万円！

裁判記録の中に、検察事務官から検事への報告書があります。そこには右の表のような驚くべき給与表がありました。

平成23年12月からは暴力団組長に渡すための100万円を4人の取締役の給与に25万円づつ上乗せしていたのですが、この給与表はそれを除く金額というのです。

別府市民の税金が、このような利権の対象として食い荒らされていたとは、本当に許されません。広域圏当局には、市民が納得のいく説明をする責任があるのではないのでしょうか。

『別府環境』幹部の給与(月額)

【K社長の場合】

H22年5月～	36万5,920円
H22年6月～	86万3,000円
H23年2月～	93万3,000円
H23年12月～	129万6,000円
H24年6月～	135万1,448円
H25年1月～	150万3,946円

【K・Kの場合】

H22年4月～	26万3,796円
H22年5月～	63万0000円
H23年2月～	70万0000円
H23年12月～	89万0000円
H24年6月～	101万3557円
H24年11月～	110万8719円
H25年1月～	112万8719円